

資料4

企画提案競技審査会要領

(結婚サポータースキルアップ・「まずは出会いから」応援事業業務委託)

1 目的

この要領は、結婚サポータースキルアップ・「まずは出会いから」応援事業業務委託の受託候補者を選定するため、企画提案競技の公正かつ適正な審査に必要な事項を定めるものである。

2 審査会の設置

秋田県人口戦略部男女共同参画推進課（以下「男女共同参画推進課」という。）内に審査会を設置する。事務局は、同課調整・結婚・若者支援チームに置く。

3 審査員

- (1) 審査会の審査員は、次の者をもって構成する。
 - ①男女共同参画推進課長
 - ②男女共同参画推進課長が指名する者2名
- (2) 審査会長は、男女共同参画推進課長をもって充てる。
- (3) 審査会長は、審査会を統括し、審査会を代表する。

4 審査の実施方法

提出された会社概要、企画提案書、経費見積書、その他の書類及び企画提案者によるプレゼンテーションにより審査を実施する。

5 審査の評価方法等

- (1) 評価方法
 - ① 審査員ごとに別添「企画提案競技評価票」を用い、評価を行う。
 - ② 審査による評価は、評価項目それぞれについて評価基準により5段階で行い、評価項目ごとの重要度に応じた係数を乗じて評価点を算出する。
 - ③ 各審査員の評価点の合計は、330点満点（各審査員110点満点）とする。

- ④ 「賃金水準の向上」及び「女性の活躍推進」に関する取組及び経費見積については、事務局において評価点を算出する。

ア. 「賃金水準の向上」及び「女性の活躍推進」に関する取組の評価基準

評価項目	設定区分		配点		
	大区分	小区分			
賃金水準の向上	役員及び従業員の給与等受給者一人当たりの平均給与額又は役員を除く従業員の給与等受給者一人当たりの平均給与額の対前年増加率 ※1	1.50%以上	3	最大 5	
		2.00%以上	4		
		3.00%以上	5		
	「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表		0.5		
女性の活躍推進	一般事業主行動計画の策定・届出	従業員数 100 人以下の企業	女活法※2	各	最大 0.5
			次世代法※2	0.25	
	えるぼしチャレンジ企業認定 ※1			1	最大 3
	法令に基づく認定	女活法 ※2	えるぼし	1.5	
			プラチナえるぼし	2	
		次世代法 ※2	くるみん	1.5	
			プラチナくるみん	2	
	若者雇用促進法※2	ユースエール	0.5		
	秋田県知事表彰の受賞	女性活躍・両立支援企業表彰※3		各 0.5	最大 1
		女性の活躍推進企業表彰※3			
子ども・子育て支援知事表彰※3					
男女共同参画社会づくり表彰					

注1 評価項目「賃金水準の向上」の平均給与額の対前年増加率については、該当する最も配点が高い小区分により配点を行うものとする。

注2 評価項目「女性の活躍推進」の一般事業主行動計画の策定・届出及び秋田県知事表彰の受賞については、該当する小区分ごとに配点を行うものとする。また、法令に基づく認定のうち女活法については、該当する最も配点が高い小区分により配点を行うものとし、次世代法についても同様とする。

注3 一つの評価項目のうち、複数の大区分に該当する場合は、その合計点（一部に最大配点の調整あり。各評価項目最大5点、合計10点）により配点を行うものとする。

注4 共同企業体制度（JV）又はこれに準ずる共同提案等複数の事業者が一体となって提案を行う場合は、「賃金水準の向上」と「女性の活躍推進」の各評価項目において、個々の参加企業の配点を合計し、当該参加企業の総数で除した点数（小数点以下第3位を四捨五入）により配点を行う。

※1 「えるぼしチャレンジ企業認定」は、令和4年5月に創設した本県独自の認定制度で、女活法のえるぼし認定基準に掲げる女性の採用や女性の管理職比率等の数値目標を1つ以上達成し、えるぼしの認定取得を目指した実施計画を有する企業を対象としている。なお、「法令に基づく認定（女活法）」に該当する場合は、「えるぼしチャレンジ企業認定」の配点は行わないものとする。

※2 女活法：女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（平成27年法律第64号）

次世代法：次世代育成支援対策推進法（平成15年法律第120号）

若者雇用促進法：青少年の雇用の促進等に関する法律（昭和45年法律第98号）

※3 「女性活躍・両立支援企業表彰」及び「子ども・子育て支援知事表彰」を統合して令和7年度から「女性活躍・両立支援企業表彰」として実施している。

イ。「経費見積」に係る価格評価点について

価格評価点＝5点×（最低見積価格※1÷見積価格※2）」

・最低見積価格を提案した者の得点は5点となり、その他の者は上記計算結果に応じた得点（小数点以下四捨五入）とする。

※1＝全提案者中最も低い見積価格

※2＝当該提案者の見積価格

(2) 評価項目及び評価観点・評価配点

別添「企画提案競技評価票」のとおり。

(3) 評価基準

5段階評価	評価基準
5	企画提案の内容が特に良い
4	企画提案の内容が良い
3	企画提案の内容が普通である
2	企画提案の内容がやや劣る
1	企画提案の内容が劣る

(4) 評価項目別に乘じる係数

評価項目に応じて、次の観点により、乘じる係数を設定する。

乘じる係数	観点
3	重要度が特に高い項目
2	重要度が高い項目
1	上記以外

6 基準点

基準点は198点（審査員による評価点の合計330点×0.6）とする。

7 受託候補者の選定

- (1) 上記5により算出した合計点が基準点に達している者に対し、点数の高い順に順位を付ける。
- (2) 合計点が同じ者があった場合には、審査員が協議し最終的な順位を決める。
- (3) 1番の順位の者を受託候補者として選定する。